


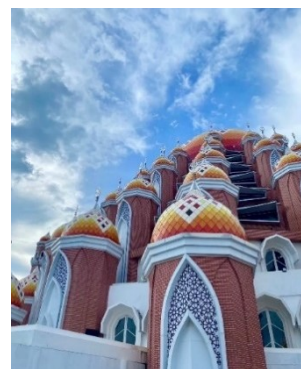
〈発行〉高等教育コンソーシアムにいがた
看護系タスクフォース
2025年3月

新潟医療福祉大学  からのニュースレターです。
今回は、海外研修や救急サークルについて紹介します。

海外研修に参加しました

私は日本の医療だけでなく海外の医療にも興味があり、大学の授業の一環としてインドネシアでの海外研修に参加しました。

姉妹校であるハサヌディン大学の看護学生と交流したり、現地の医療について病院や診療所の訪問を通して学ばせていただきました。特に印象に残っているのはJICAの日本人スタッフの方の活動を見学させていただいたことです。インドネシアでは保健所が住民の生活の一部に溶け込んでおり、住民と医療の距離が非常に近いと感じました。日本とは異なる環境で医療や看護について触れたことで、自分の価値観や考えた方を見つめ直す貴重な機会となりました。 看護学科3年 石田春菜



それぞれの国の医療についてディスカッション中



インドネシアのマカッサルで、美しい自然を感じてきました

サークルを通じて広がる世界

私は新潟医療福祉大学に入学し、入学時から夢であったフライトナースになるという夢に向かって様々な活動に励んでいます。主な活動として、救急サークルで自身の学びたい分野について学びを深め、資格取得に向けて頑張っています。救急サークルは、看護学科、救命救急学科、作業療法学科、社会福祉学科の1~3年生が所属しており、救急や災害医療など幅広い分野について勉強会を行っています。最近ではサークルメンバーで一次救急(BLS)やエマルゴプロバイダーの資格を取りに行くなど、学内のみならず様々な活動を行っています。サークル活動を通して得た知識や経験を活かし、沢山の人を救える看護師になれるように、残りの学生生活も学びある日々にしていきたいと思います。



救急サークル活動の一場面。チームワークを大切にしています。

看護学科3年 佐藤日菜多

